

令和3年度「緑と水の森林ファンド」公募事業申請一覧表 (採択例)

番号	事業名	事業概要	事業実施効果等	申請者	都道府県	事務局案	SDGs
【普及啓発事業 56件】							
1	添別ブナ林を活用した森林環境教育活動(森のようちえん)	黒松内町の添別ブナ林の有効活用し、青少年を対象とする森林ESDの推進するため、近隣市町村の幼児、小学生、その保護者を対象に森のようちえん活動を行う。	活動に参加した子どもたちは、森の魅力を体験的に知ること、森づくりの担い手となる。活動に参加した保護者は、メンタルヘルスケアになり、日常的に森へ関わるきっかけとなる。身近な森林での地域内外の交流の場を創出することで、近隣市町村の住民へ森での活動の機運を高めることができる。	黒松内ぶなの森自然学校運営協議会	北海道(新規)	250	SDGs:
2	青少年への緑を通じた環境教育推進事業	県内の緑の少幼年団の育成強化を図るため、森林公園や地域の里山を活用し、野外教室や木工教室、交流会を実施し、次代を担う青少年に、森林・緑に対する理解を深め、生物多様性の保全や地球温暖化防止の意識を育む。	森林公園や地域の里山を活用し、参加した子供達が森林の多面的機能や地球温暖化防止等に重要な役割を果たしている事を学び、さらなる緑化意識の高揚を図る。	青森県緑の少幼年団連盟	青森	800	SDGs— 3, 4, 12, 14, 15, 17
3	眺望山自然休養林を活用した健康増進活動	地域にある森林公園を使用して、市民・小学校児童を対象とした森林セラピー体験活動を実施し、森林が持つ心理的なリラクゼーション効果を体験してもらい、ストレスからくる病気やいじめの予防につなげ、市民の健康増進や明るく安全安心な街づくりに資する。	県内のテレビ・新聞等に取り上げられることにより、森林を活用しての地域住民の病気予防と市民生活・学校生活のストレス軽減等や健康増進意識を育むことができる。また、当協力が毎年実施している緑の募金「家庭募金」の推進や森林・緑への理解が深まる。	沖館地域緑の募金推進協力会	青森	200	SDGs:3
4	五感で楽しく学ぶ里山SDGs	「森林体験」と「木のものづくり体験」を通して、子どもたちが「森林の大切さ」や「森林資源の活用」について楽しく学ぶ機会を提供し、市に向けても「SDGs」の普及啓発活動を行う。	「森林の保全」、「木の活用」とは何か、SDGsとは何かについて、子どもたちが自ら考え、認識を深める機会を提供することができる。さらに「森林の持続可能管理」について、五感を通して楽しく学べるイベントとして全国への普及が期待できる。	特定非営利活動法人 おどろ木ネットワーク	青森(新規)	600	SDGs:11.1 3.15
5	里山整備に若い力を〜きこプロジェクト〜	全校生徒で地域の里山を整備し、マツタケが発生する里山の環境作りをし、間伐材を活用してシイタケ等を栽培し、持続可能な森林環境教育の促進に資する。	里山整備及び間伐材を活用したキノコ類の栽培により、豊かな自然と恩恵を見つめ直し、自然と共生する生活について考えるられる。地域住民と協働することで、地域社会の一員である自覚が高まり、地域の森林環境の持続的な保全の取り組みで、地域の活性化や未来に貢献する意識の高揚が期待される。	岩手県立 大野高等学校	岩手	350	SDGs:15
6	森から学び、行動しよう!ESD for 2030・SDGS	自然共生の暮らし方を体験と共に学び水源地域の環境保全に努めると同時にSDGsの実践として豊かな森づくりにつながるプログラムを通年で実施する。	森林体験学習参加者たちの森林・環境に対する意識が高まる。子供たちの創造性や自発性等の人間力向上。森づくりによって森林の多面的機能が向上する。	特定非営利活動法人 水守の郷七ヶ宿	宮城	250	SDGs: 3.4.6.7.1 2.13.14.1 5.17
7	自然にふれよう(山のがっこう)	山の日を記念し、地元の野鳥の森ウオーキングコースを散策し自然にふれ、森林を身近に感じ山の恵みに感謝する活動にすることを目的とする。	・森林や環境などについての認識と理解 ・次世代のリーダー育成 ・環境教育の普及啓発	特定非営利活動法人 SCR	宮城	400	SDGs:4.12 .15

令和3年度「緑と水の森林ファンド」公募事業申請一覧表（採択例）

番号	事業名	事業概要	事業実施効果等	申請者	都道府県	事務局案	SDGs
8	横手の山30座選定報告書作成事業	自分が住んでいる地域にも素晴らしい山が存在することを市民が認識し、山や森林に対する愛着を持つとともに、市民が山や森林を大切にす活動につなげるための事業。	日本全国それぞれの地域で、地元の住民に愛されてきた山・森林・水が存在する。しかし里山は過疎化により活用や手入れがされない状態になってきている。地元の山々を知ること、地域の住民が森林に親しみをもち活用や手入れを行う機運を醸成する。	横手山岳協会	秋田 (新規)	400	SDGs:15
9	フォレストサポート・2021	2015年に植樹した「森」の下刈り等の手入れをし、森づくり保全活動に取り組む。森や木にふれる森林体験学習を通じ、より森林を理解し環境問題への理解を深め、SDGsに貢献する。	「育樹」の大切さを学び、「美しい豊かな自然」を守り、環境問題(地球温暖化等)への理解を深める。SDGs13,15を意識し、行動のきっかけになる。五感を養い、「自然との共生の文化」に気づき、子どもたちの健全な成長に寄与。一般市民との協働によって、「森づくり」に対する関心を促すと共に、認識を深めることに寄与。	ガールスカウト 山形県連盟	山形	200	SDGs:ACT3
10	木のおもちゃ広場の開催	木のおもちゃで遊び、木の良さ・効果を体感し、森林・樹木への関心を高めると共に、木材利用は森、海及び人々の生活を守ることに繋がるという環境教育として開催する。	木のおもちゃに親子で触れ、遊ぶことで木の良さを体感してもらおう。傍らの森林環境や木のクイズなどのパネル等で、自然と森林の重要性や環境保全等を学んでもらう。自治体×NPO・企業等と連携し、子育て世帯を応援する「すくすく子育てフェスタ」を同時開催し、多くの家庭に森林・水・緑に関心をもってもらおう。	一般社団法人 子育てネットワーク ままもり	茨城	850	SDGs:3, 4, 11, 12, 12, 14, 15
11	地域材による木工技術の普及と木材利用の普及促進事業	地域材の利用拡大のため、間伐材を活用した木工技術の普及を行う。また、森林の役割や魅力を多角的に発信することにより、環境意識の啓発と木材利用の普及促進に寄与する。	八溝山の間伐材の活用や木工技術の継承が地域材の普及につながる。更に森林環境に対する理解を深め、環境教育としての効果が期待できる。	特定非営利活動法人 やみぞの森	茨城	900	SDGs:12
12	高原山麓の森林の保全再生と利活用促進	高原山をはじめとする様々な森林の保全再生と利活用を促進することで、持続可能な地域づくりを行い、「山の日」の意義の周知を図る。	高原山麓の貴重な自然について、実際に現地に行くことをはじめ、様々な機会を設けることにより、森林や水、木材の大切さを認識してもらい、利活用を促進するなど、より一層の環境保全活動への関心を向上させる。	くまの木里山応援団	栃木 (新規)	600	SDGs:7, 11, 12, 15, 17
13	森はともだち 楽しくまなぼう 森友楽校	自然観察会、森のめぐみ体験、森づくり体験等を通じて自然と親しみ、自然環境の保全や人間形成に理解を深めてもらおうと共に、普及啓発と森林環境教育を行う。	森林の公益的機能や、緑・水に関して理解を深め、自然に触れる喜びや環境保全に関心を持ち、自ら行動する人づくりに繋がると共に、安全で効果的な普及啓発活動・体験を通じて、生きた森林環境教育を実践する。	ぐんま森林インストラクター会	群馬	350	SDGs:13, 15
14	竹林整備によって作られる竹炭活用のサカキ(ヒサカキ)栽培。	竹林整備から作る竹炭を利用し自生するヒサカキを栽培することに挑戦したい。現在神棚に上げるサカキの90%が外国産である。国産化して地場産業として全国に広めたい。	竹林整備の体験を通して子供たちの「自然と人々との関わり的重要性と関心」の醸成を図る。	ちば里山・バイオマス協議会	千葉 (新規)	650	SDGs-3, 4, 6, 7, 8, 9, 11, 13, 15, 17
15	子どもと森ををつなぐためのリーダー養成講座(第5回)	北欧で開発された環境教育プログラムをもとに、日本の自然に適したメソッドで、森・緑・水の認識を深め、子どもたちにわかりやすく伝えることのできる人材育成を目的とする。	森林・緑・水の観察で環境の持続の必要性を理解し、自然と人との共生について考察できる人材を育成する。子どもたちに自然の仕組み等を教えらる環境教育リーダーが養成される。SNSでの参加者募集、新宿御苑IS等でのポスター貼付等の活動で不特定多数の人々に環境教育の必要性等を啓蒙普及できる。	特定非営利活動法人 観照ボランティア協会	千葉	400	SDGs, ACT3, 4

令和3年度「緑と水の森林ファンド」公募事業申請一覧表(採択例)

番号	事業名	事業概要	事業実施効果等	申請者	都道府県	事務局案	SDGs
5	「働き方改革実行計画」に合わせた、森林空間を活用したメンタルヘルス対策推進の仕組みづくり・プログラム開発・効果検証	「働き方改革実行計画」への「森林空間を活用した保養活動」の記載を踏まえ、企業等と連携したメンタルヘルス対策の森林セラピー等の推進の仕組みづくり・効果検証等を行う。	森林の保健休養・セラピー等の効果の科学的検証で、森林の公益的機能の社会的価値を向上させる。企業・医療者向け体制づくり等で、森林・農山村の観光・交流が促進し地域を活性化。医療機関、産業医等、健康保険組合等と連携し、全国的な森林空間を活用した心と身体の健康づくりが促進される。	Momo 統合医療研究所	東京	700	SDGs : 3, 15
6	養成校と地域が連携した自然保育の人材育成・確保に向けた実証的研究～農山村地域における幼児期からの森林環境教育の推進に向けて～	保育者確保と保育の質向上という二つの課題を抱える農山村地域において、地域の自然を活かした自然保育が、保育者の確保と質向上をもって、幼児期からの森林環境教育の推進基盤を整えることを目的とする。	関連機関や部署、養成校、地域全体での連携させることができ、認識を共有することで体制づくりのきっかけにも成る。さらに、「森林整備・保全の推進」、幼児期からの「森林環境教育・森林BSD」の推進への理解が深まり、保育関係への学生の就職意欲を高め、保育者確保に効果的である。	上田女子短期大学	長野(新規)	1,000	SDGs : 4
調査研究事業 6件					新規3	5,350	0
【基盤整備事業 20件】							
1	まるごと大沼ラムサール探検隊	大沼国定公園を教育的な学びが得られるネイチャーパークとして新たなブランドイメージを構築することを目的として、近隣の子ども達を対象としたジュニアレンジャー教室を実施する。	大沼学を学習のコアに据えながら、繰り返し環境教育プログラムを実施することで、子ども達と住民が一体となって大沼国定公園を再構築している様子そのものがブランドイメージ化して、低迷している大沼の観光に歯止めをかけることを目指す。	大沼エデュケーションパーク準備室	北海道(新規)	500	SDGs:11.1 2
2	森のようちえん活動基盤の整備・推進事業	未就学児を対象に森林や森林資源を活用した森のようちえんを開催し、発達段階に応じた森林での遊びを通して森林・自然と共に子どもたちが育つ環境をつくることを目指す。	森のようちえんを始めるための勉強会を通じ、市民の森林の教育効果への関心が高まる。森のようちえんの定期的な開催で、幼少期から森林環境への教育機会を創出し、森林と人の共生を理解する人材育成につなげ、持続可能な森林環境保全の活動が高まることにつながる。	特定非営利活動法人 遠野エコネット	岩手(新規)	550	SDGs:4.15
3	森でコミュニケーションしよう「里山再生プロジェクト」	1985年の宅地開発により里山としての機能を失った森を、大学・地域住民・NPO・名取市が連携し、公共財として捉え再生する。	教職協働によって里山を持つ大学として教育環境の充実、同時に市民と学院との多様な交流形成と生物多様性の保全が図られる。	学校法人 尚綱学院	宮城	450	SDGs:7.15 .17
4	手入れされていない森林の再生整備と活用事業	5haの森林を整備することで明るい林内にし、伐採した木材で展望台や遊具を手作りする。林内を周遊できる安全な散歩道の延長・整備をする。手入れされた森林を通じてすばらしさを体験できる場とする。	当該雑木林の隣接地が太陽光発電の開発地になっており、開発の防波堤として荒廃雑木林を地域の方の理解と協力を得て保全整備することで森林の大切さと素晴らしさを共有する。また、「冒険の森」として展望台や遊び場、散歩道の造成を通じて生涯学習としての身体的及び精神的連携が図れる。	なか自然の会	茨城(新規)	300	SDGs:3.11 .13.15
5	森のボランティア育成とヤマアジサイの調査	森のボランティア育成講座とヤマアジサイの生息調査及び森の植物の観察を行う。	森のボランティアの参加者を増やして、地域に活動を知らしめることができる。	倉洲ヤマアジサイの会	群馬	500	SDGs:15

令和3年度「緑と水の森林ファンド」公募事業申請一覧表(採択例)

番号	事業名	事業概要	事業実施効果等	申請者	都道府県	事務局案	SDGs
6	開発跡地での都市部と秩父の植樹・森林活動と交流促進	森林や木材のモノやコトを都市部に伝え、持続可能な森を創る時間を共有するために、植樹・森林活動を通して都市部の人々と交流することで、森林の尊さを理解して貰う。	都市部の家族・企業・社員に森林の尊さを伝え、植樹・森林活動により交流が図られる。秩父版インタープリターの研修会、秩父市のNPO等の団体と都市部の企業で新たな木材の6次産業化や新たなビジネス、起業、移住定住へのつながり等新たな活動が考えられる。	秩父フォレスト	東京(新規)	950	SDGs:3.8.12.13.15.17
7	大学生を対象とした森林環境教育プログラム	都内近郊の大学生を対象に、森林保全活動体験を通して森林の大切さを学び、中山間地の地域社会の生活や文化、直面している課題にふれて行動につなげる環境教育プログラム。	森林や中山間地を訪れる機会のない東京近郊の大学生(日本人、留学生)が、森林保全や地域の暮らし、文化の体験を通して、森林や中山間地の地域社会のあり方、価値、課題にふれることで、自分の問題として捉え、行動のきっかけとする環境教育プログラムを行う。	特定非営利活動法人 Peace Field Japan	東京	300	SDGs:3.4.6.8.12.13.15
8	子ども樹木博士認定活動を活用した森林環境教育の推進	森林・樹木への関心を持つきっかけとなる子ども樹木博士認定活動の普及を図るため、実施団体のネットワークの強化を図り、森林環境教育への入口の間口を広げることに資する。	子ども樹木博士認定活動を通じて、森林・樹木に関心を持つ子供たちが増加することにより、次世代の森林の理解者が増大する。	子ども樹木博士認定活動推進協議会	東京	800	SDGs:4.15
9	ソフィアの森の整備	昨年からエリアが拡張されたソフィアの森について、環境教育・BSD、健康づくり・レクリエーション活動などが楽しめる本格的なフィールド(フォレストィング・ペース)づくりとそのための研究活動が可能となるフィールドの整備を図る。	森林環境体験活動による学生の環境リタラシーの向上、地域のNPOと波及効果の協働活動によって地域の子ども達や地域住民の環境意識の啓発に寄与。留学生に関しては日本における森林環境及び環境教育の理解の促進。教育・健康・レクリエーション利用関連研究、森林サービス産業の普及への寄与。	上智大学大学院 地球環境研究科	東京	500	SDGs:4.7.8.9.12.15
10	安全で楽しい森林の保全・利用を指導できるリーダー養成事業	里山保全の計画に基づく安全で楽しい活動と資源の循環利用を推進するために現場リーダーを養成するとともに、横浜・多摩地域の活動団体とのネットワークを強化する。	横浜・多摩地域の里山において現場リーダーが増え、リーダーが所属する団体のネットワークを通して、里山保全資源循環の質が高まる。	モリダス	東京	750	SDGs:3.4.12.15.17
11	森林空間を活かした不登校児のための居場所と学び舎「森のかっこう」	コロナをきっかけに増えている不登校児が、健康な心と体を育むため、森林空間を活かした居場所をつくり、自らフィールドを整備することを通して、主体的な学びを引き出す。	不登校児が森と親しみながら健康な心と体を育むことができ、森林空間を活かした新しい不登校児の居場所ができる。さらには、森林についての知識を持つ未来の人材を育てることができる。	森のかっこう	岐阜(新規)	450	SDGs-15
12	森のようちえんと小規模特認校の連携による、保幼小中一環の「森と自然を活用した保育・教育」実践モデル構築事業	森と自然を活用した保育・教育の展開のモデル手法の開発を通し、保育・教育の質の向上や、農山村地域の活性化に寄与する。また、成果について情報発信を行う。	「森と自然を活用した保育・教育」開発モデル情報発信による学びの交流・深化促進および意欲向上。新たな森林整備・活用の担い手育成。森林ESDから地方創生・移住促進への効果。	一般社団法人 びわ湖の森のようちえん	滋賀(新規)	550	SDGs:4.9.11.15
13	陀羅尼助(だらにすけ)の郷で森林づくりin天川村洞川 Part2	県内各地で活動する森林ボランティア団体のリーダー養成・ネットワーク構築や、森林づくり活動を通じた農山村と都市住民との交流を奈良県天川村で実施する。	植樹済みキハダの状態観察、下草刈りで育林を学ぶことが出来る。また、キハダ植樹で、広葉樹による彩のある持続可能な森林づくりができる。 ・森林づくり活動を通じ、農山村と都市住民等と交流することで、今後の連携を期待できる。さらに、森林ボランティアリーダーとしてのスキルアップが期待できる。	奈良県森林ボランティア連絡協議会	奈良	500	SDGs:13.15